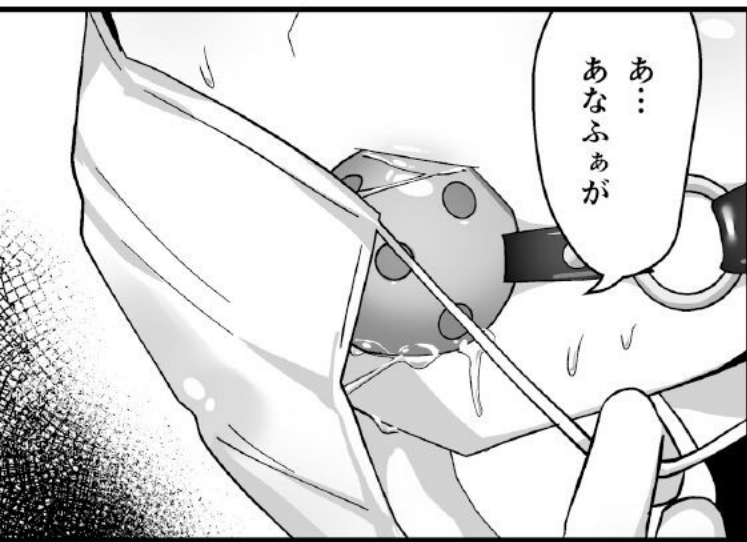
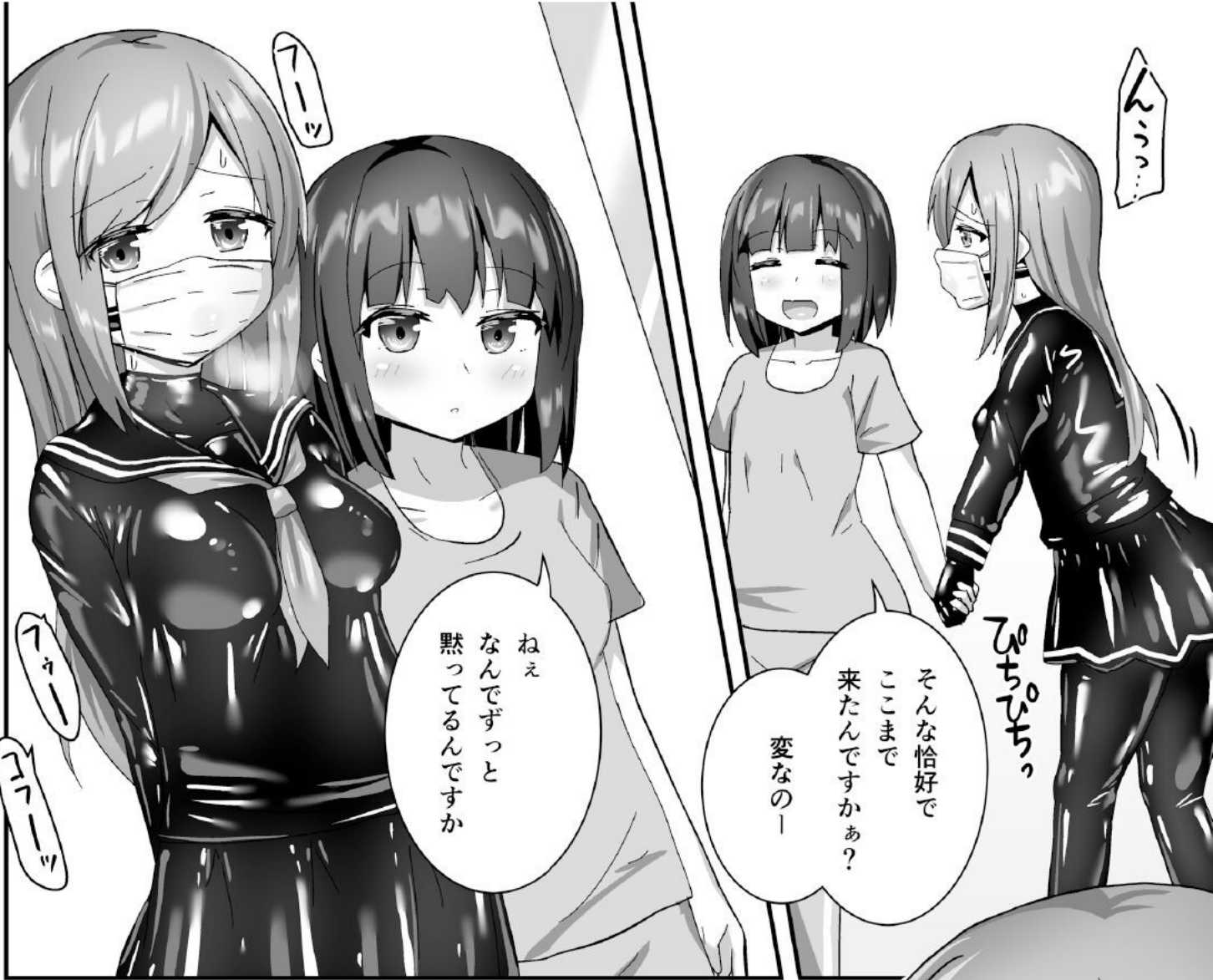


R18

Adult only



お砂糖は百合色

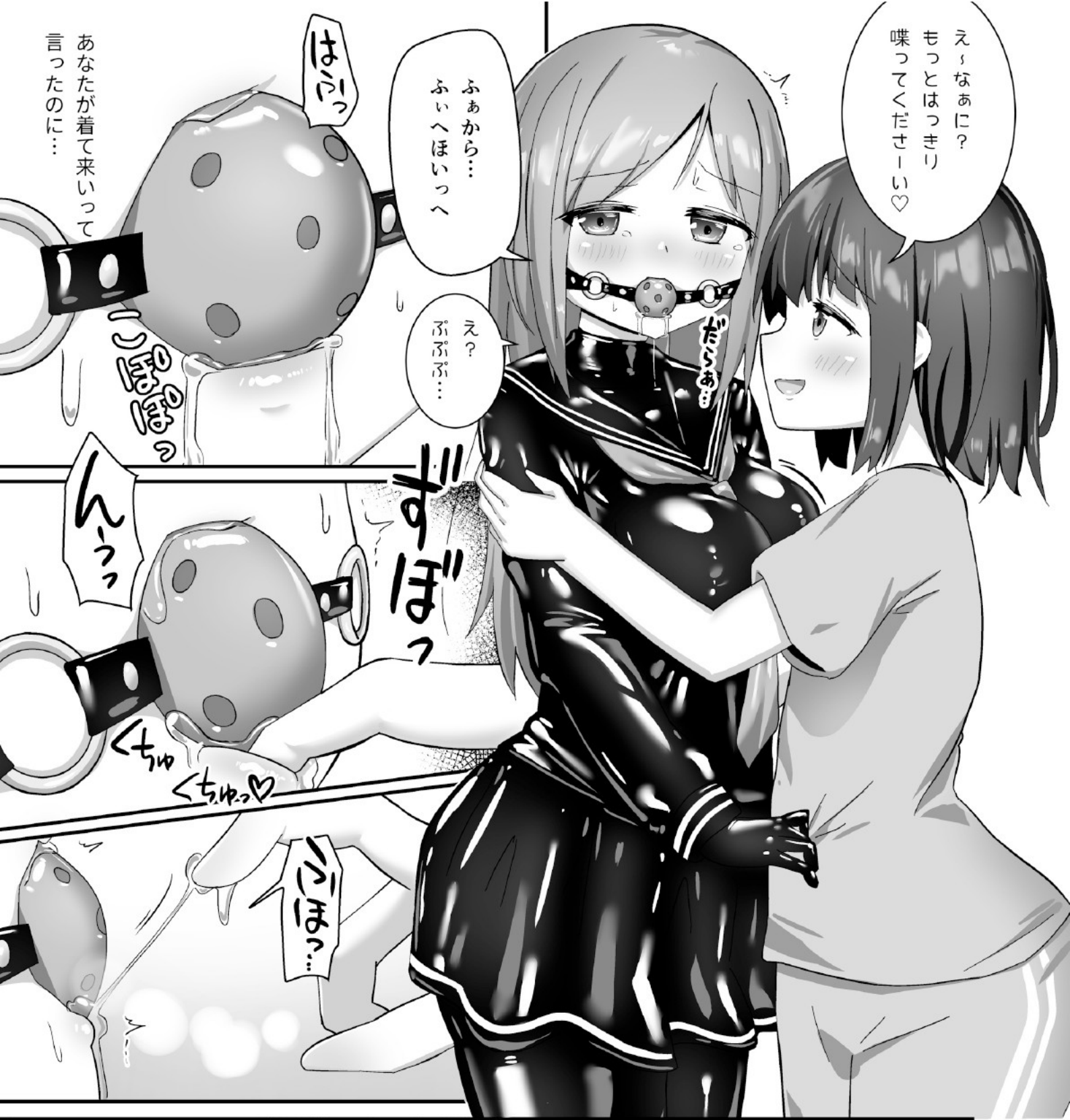


えゝなあに？
もっとはつきり
喋ってくださいーい♡

ふあから…
ふいへほいっへ

え？
ぷぷぷ…

あなたが着て来いって
言ったのに…



私は
この子…ツグミの
おもちゃ


今日は
そ…う…日

ちゅっ♡




きっかけは
半年前のこと…






学校や公共サービス：
メタバースはこの1年で
あっという間に浸透した



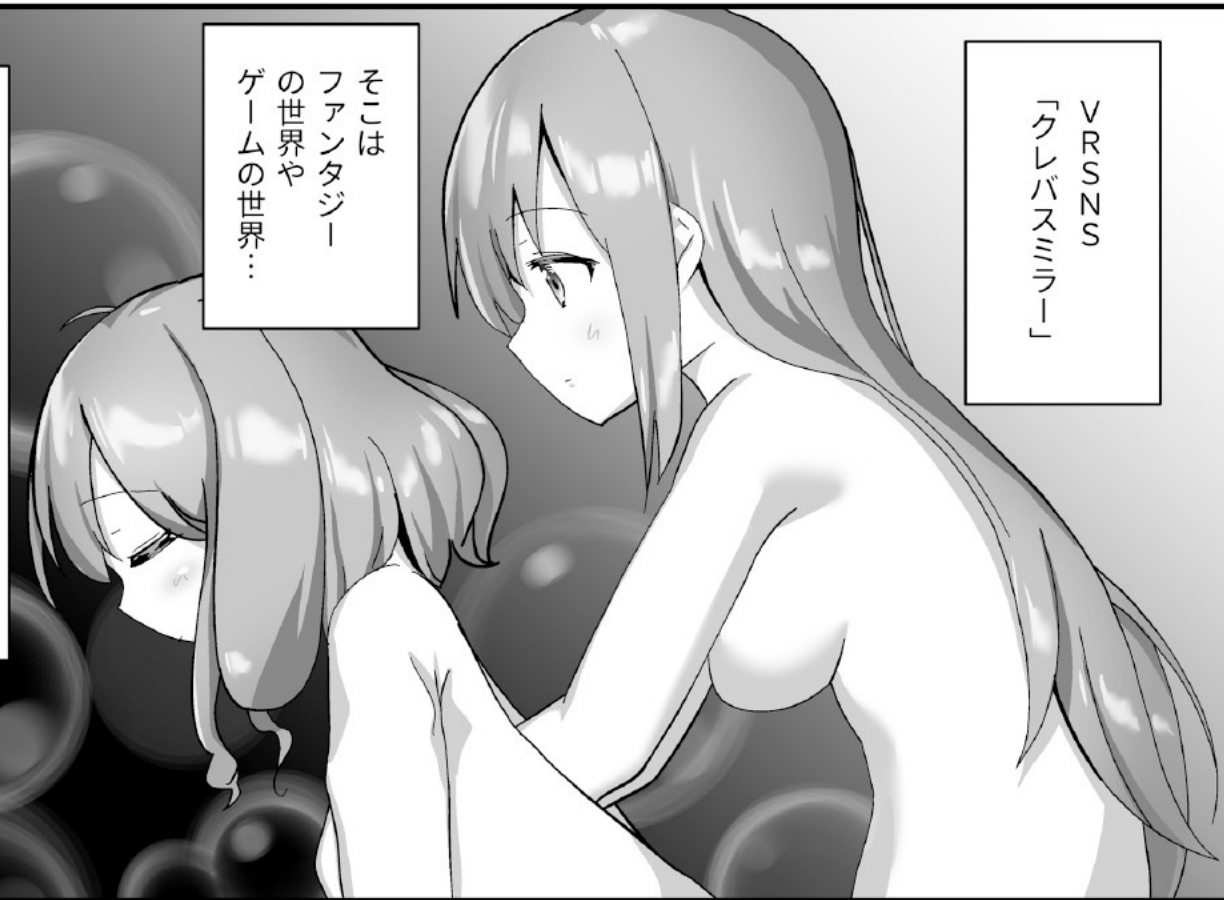
機械が苦手な私は
そんな現実とは無縁…



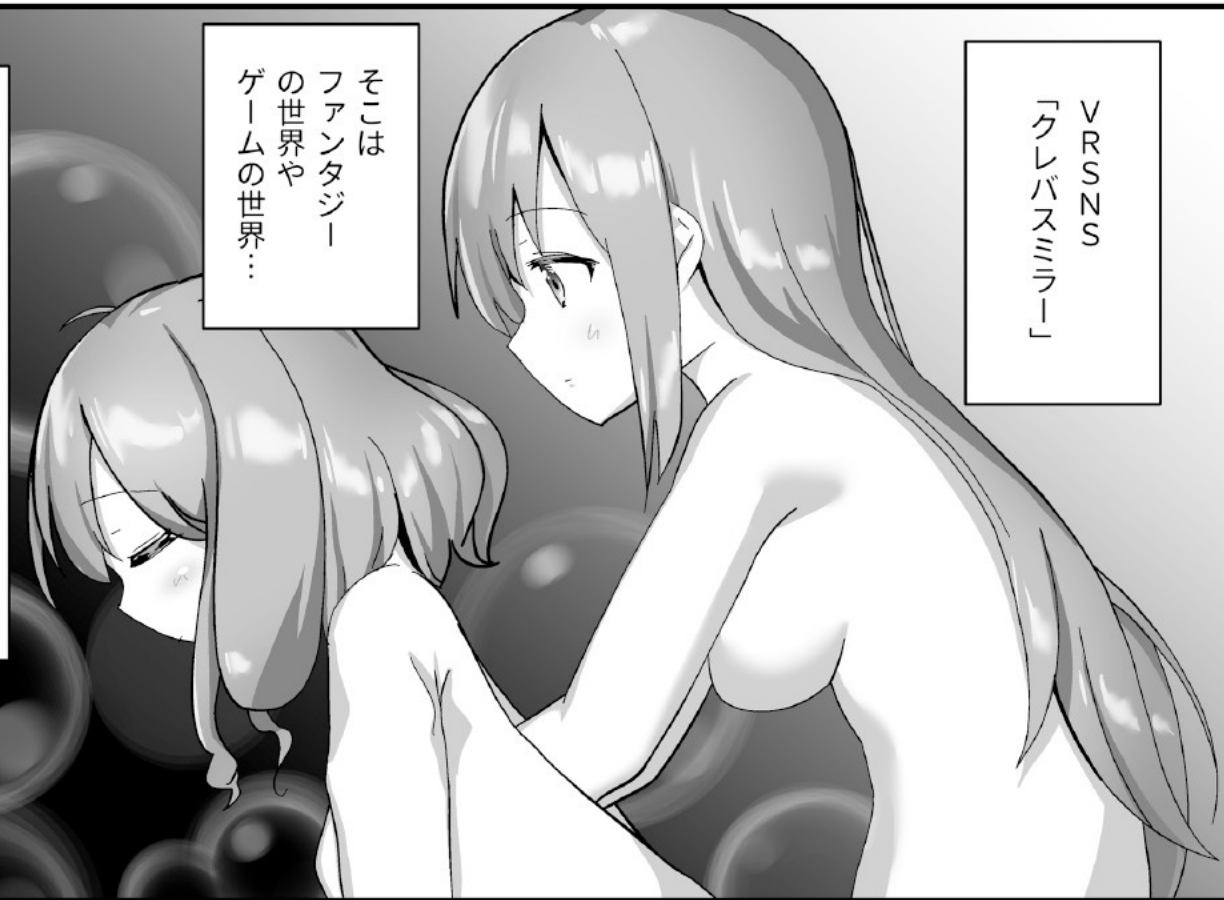
…と行きたかったのだけど
クラス委員である立場上
みんなに取り残されるのは
避けないといけない




VRSNS
「クレバスマイラー」




そこは
ファンタジー
の世界や
ゲームの世界…




たくさんの仮想世界で構成され
皆が思い思いの姿になり
時間を共有することができる場所



予想外にも
馴染むのは早かった



結局のところ
機械の使い方より
コミュニケーションの
のちに私は悟った



お友達はどうぞ増え
気付けば毎日のように
いろんな世界をめぐっていた

ある友達が言っていた

クレバスマイラーには
「夜」の世界がある……って

クラス委員で学校の成績も上位
当然のようにみんなから
お姉さんのように慕われる日々

そんな「お姉さん」で
いることに私はどこか
窮屈さを感じていた



誰か
このダメ姉を
こき下ろしてほしい

そんな破滅めいた
ことを願ううちに
一人の女の子と出会った

ツグミは私よりずっと早く
クレバスマイラーを始めたぞうだ

気付くと私は
彼女の常連になっていた



SMをテーマにした世界
「ツインフェアリー」の
スタッフ：
彼女がツグミ

へへへ
おねーさん
こんなの
好きなんだあ♡
私の
おもちゃに
しよっかな♡





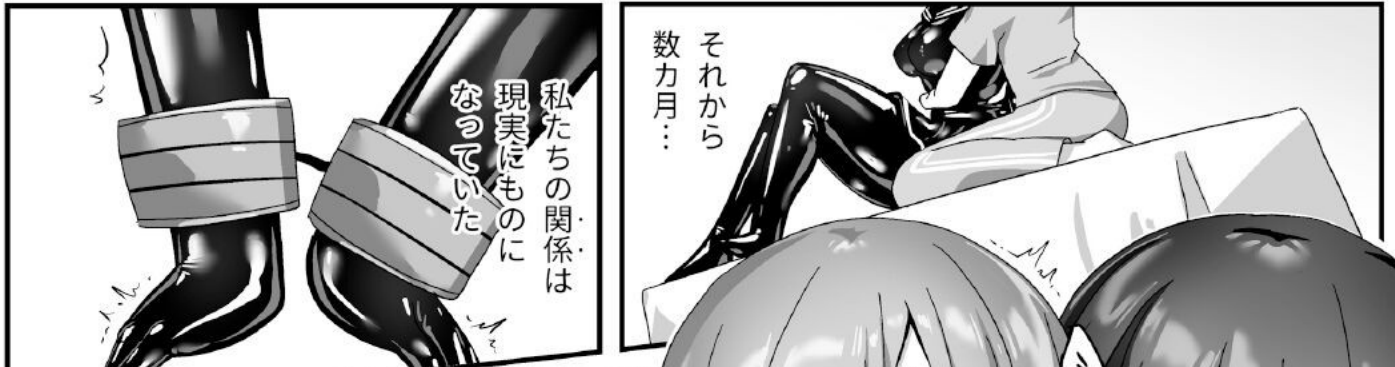
あゝそれじゃ今は一人暮らしして学校へ？

次第に私はツグミに惹かれてることに気付いた

そうなんです！ツグミさんも一人暮らし？

まあそんな所ですけど…

一度会ってみたい？って提案したらすんなりOKしてくれた



それから数日月…

私たちの関係は現実のものになっていった



私が送った衣装とスーツ…ちゃんと着てくれたんですね

律儀にポールギャグまでつけて♡

ふあめ！
ふあこは…!!



ふあめ♡

ふあめ♡



ギョッ

んっ♡

ギョッ

んっ♡

んっ♡

ギョッ

うっわ
体形が丸見え...
ちょっと
太りました？

ギョッ



だってほら
胸の辺りとか
太いかなーって

…と
上の方に注意を
向かわせておいて



んいんいん

んっ!!

あっ…

おっおっ

んいんいん!!



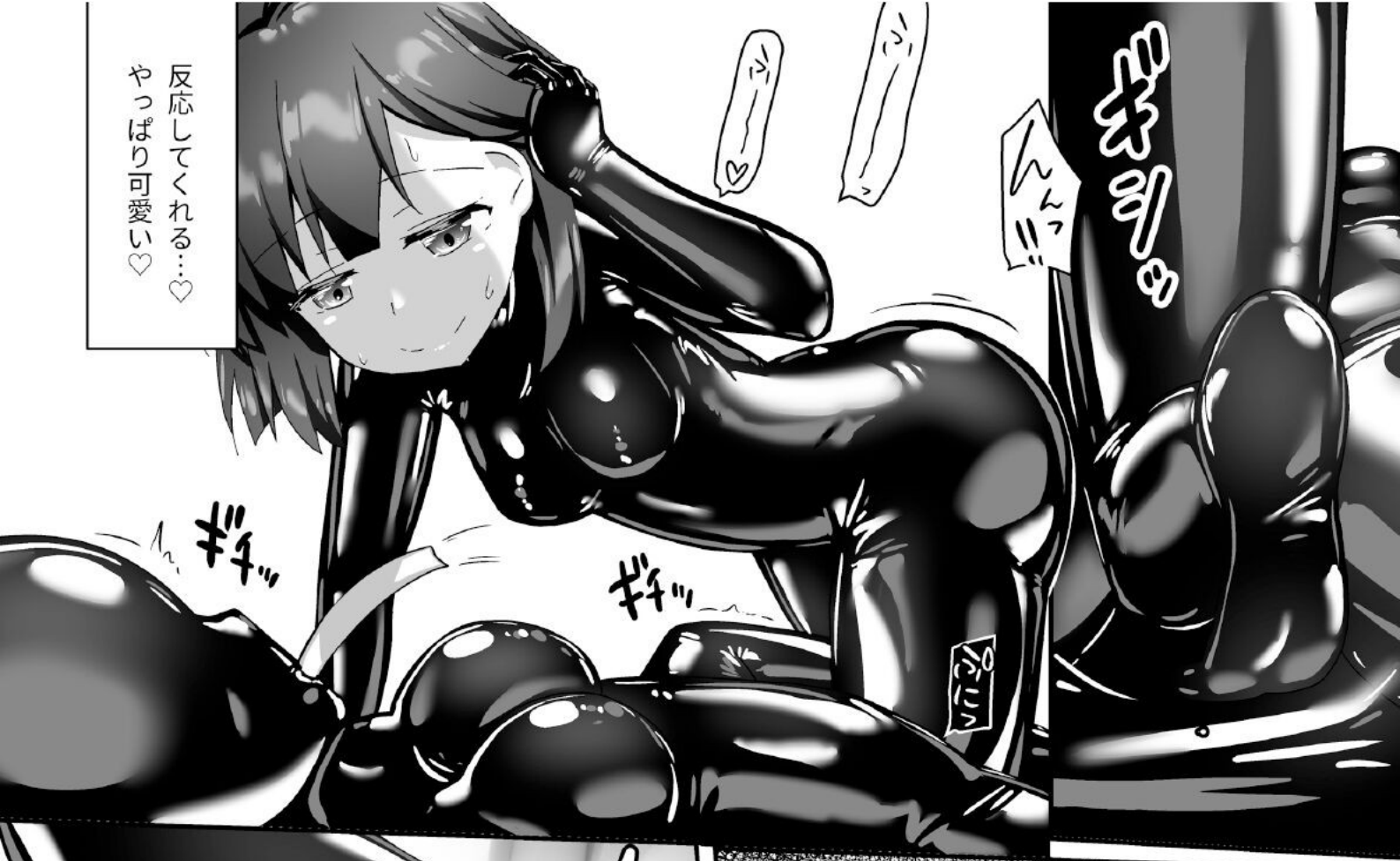
んんんん♡♡♡

んんん

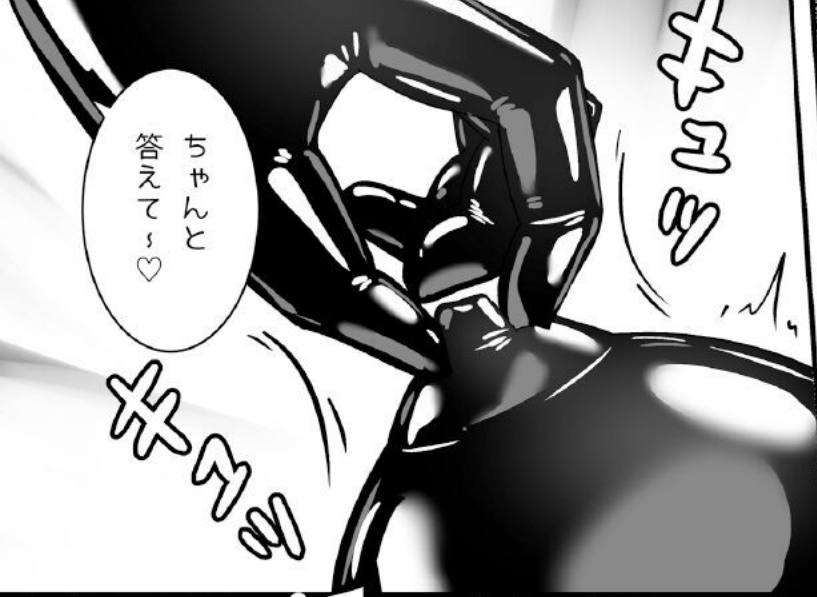
んん♡♡

んん♡♡

反応してくれる…♡
やっぱり可愛い♡



ちゃんと
答えて♡



全身を
真空パックされて
どんな感じですか？



♡お♡お♡お♡

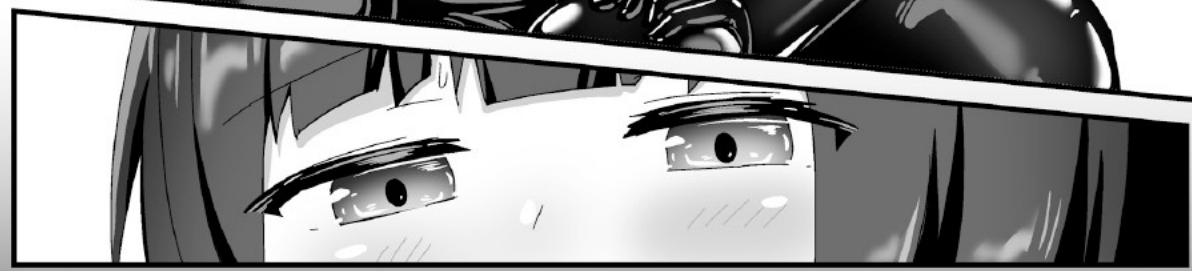
♡お♡お♡お♡



薄い膜(うすいまく)に
感じるミサゴの体温

彼女が
そこにいと
感じさせてくれる

この子は
かけがえのない
おもちゃだ



「ツインフェアリー」の
スタッフを始めたのは
現実リアルの仕事の憂うれさ晴はらしたかった

人と話すのは
得意じゃない

スタッフ内の
人気なんか
どーでもよくて
私の好きなように
振る舞うだけ

そこに
ミサゴがやってきた



最初は
他の人と同じように
テキトーに責めた

でも彼女は
ひとつまたひとつと応えては
また私のもとにやってくる

私の変態な趣味までも…



だんだんと
私は

ミサゴに自分の心を
覗かれてるような
感覚になった

初めて会ったミサゴは
私の予想通りだった

おごりなんて
そんなの悪いです

こっちから
誘ったんだから
いいのいいの！

優しいおねーさんで…

すみませーん
現金でも
いいですか？

ひとつ
またひとつと
私が露わになっていき

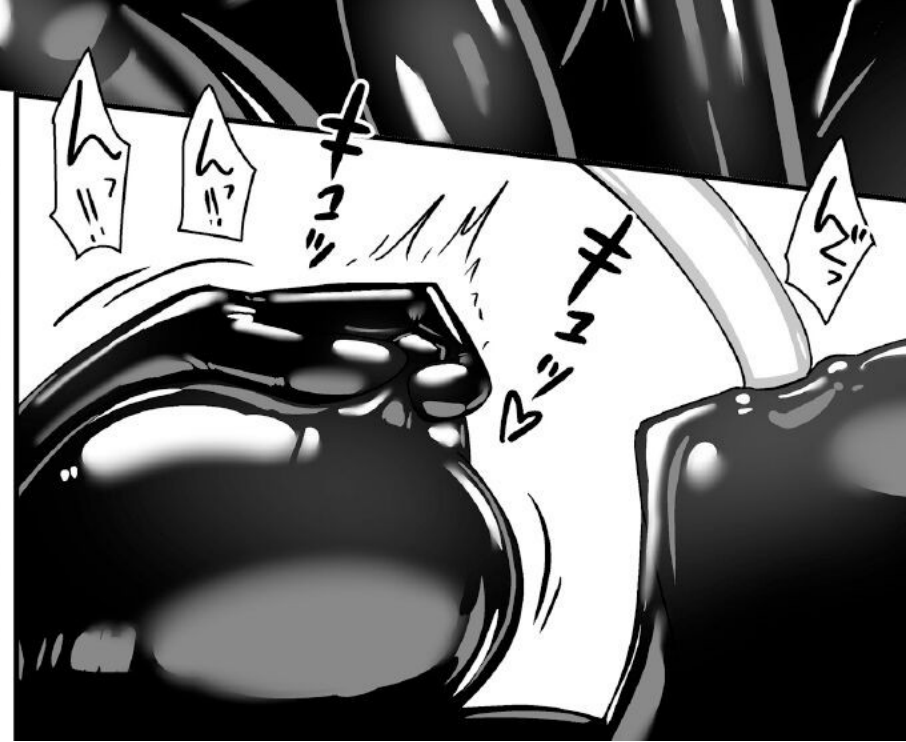
それに満足する自分…

私より年下の子

生証 20x



らめらめ
空気あげまへんよーだ♡♡





ハッ

はっ

♡
はっ

♡ ああ
ああ
ああ
あ

はっ

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

ぎゅっ♡

あの…ミサゴさん
私そろそろ
寝たいんですけど

うん
寝ていいよ
ツグミちゃん♡

抱きつかれたまま
寝れませんよ

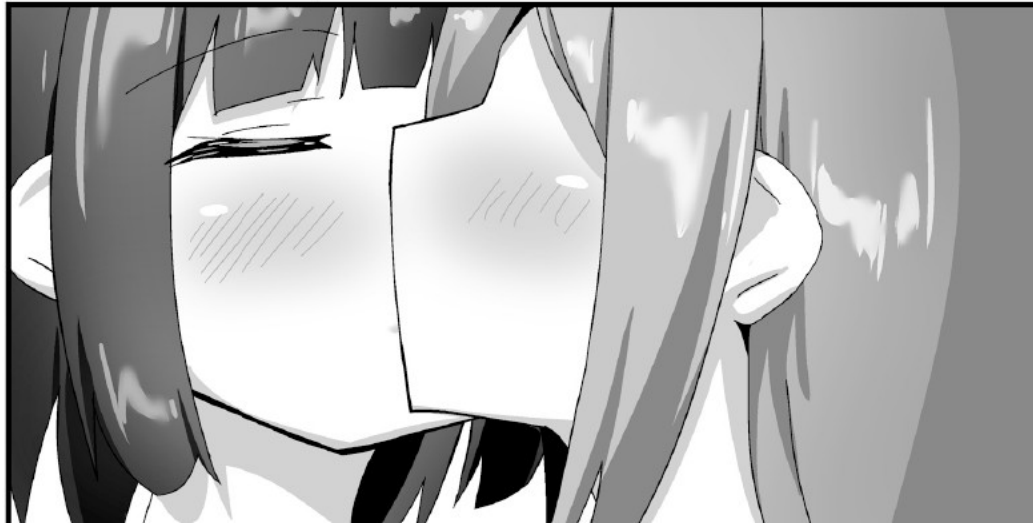
じゃあ
私が抱き枕になる♡

じゃあ…って
意味がわかりません

ほら
抱き枕に
ちゅってして…

ふああ…

もう…
ワガママな
おもちゃなんだから





なかです。

前回のコミケまで6年間続いていた「ユメ渡りの女王様」シリーズが終わり、すっかり燃え尽きていました。困った。

今回のお話、何を描こうか迷いに迷ったのですが、やっぱりラバー百合が良いな…という結論に。

タイトルはこのあとがきを書いているときに降りてきました。助かった。

「お砂糖」は主にVR界隈でカップルのような関係を指す用語です。

なので非常に直球というかそのまんまなタイトルとなっています。

最近はVR機器やグラボの進化がすごいですね（値上がりもすごい）メタバース、これからどう発展してくんだろう…とわくわくします。

話が横に逸れましたが…

しばらくは単発モノで色んなお話を描いていけたらなあ。

ではまたー

⚠ 違法アップロードを見かけたら... ⚠

この本の違法アップロードを見かけた方は、下記URLより通報をお願いします。
皆様のご協力に感謝いたします。

If you find this comic illegally uploaded, please report it from below URL.

如果您发现本漫画被非法上传，请从以下网址举报。



DLsite 違法アップロード削除申請フォーム

<https://www.dlsite.com/home/opinion/illegal/upload>

DO NOT REPOST.

※無断転載、複製、インターネット上へのアップロード禁止。
Reupload all or any part of this comic is prohibited.
禁止私自转载、加工

お砂糖は百合色

著者	なか cheeseyeast@gmail.com
発行サークル	チーズ酵母 http://cheeseyeast.com Twitter @cynaka
発行日	2022/12/31 コミックマーケット101
印刷	ねこのしっぽ

チーズ酵母

18歳未満の方の購入・閲覧を禁じます